

下越病院DMAT

～大規模地震時医療活動訓練に参加～

9/27-28で下越病院DMATが、政府の総合防災訓練における大規模地震時医療活動訓練に参加しました。

今回は、首都直下地震発生による埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県を被災地と想定する災害派遣医療チーム（DMAT）の参集、活動、医療搬送等の図上・実動訓練となりました。

（9/27活動内容）

参集先である高坂SA（のぼり）に向けて出発。車内で、EMIS（広域災害救急医療情報システム）への、入力訓練を随時実施しました。入力担当は、今回が初訓練参加になる隊員でしたが、手際よく実施していました。

（9/28活動内容）

高坂SAに参集後、埼玉県の災害拠点病院内にある本部に移動し、埼玉県内2か所の病院の「被災状況確認」の指示がありました。

どちらの病院も、DMATを迎え入れての訓練は初めてとの事でしたが、管理者の方々に丁寧にご対応いただき、被災状況の把握、支援希望内容をスムーズに聞き取ることができました。

今回は初参加の隊員にとっても、貴重な訓練になったと考えています。

なお、下越病院DMATは14名（県DMAT含む）が所属しており、年に数回ある大規模訓練に交代で参加しています。次は10/5に実施される「東北ブロックDMAT参集訓練」に参加予定です。



左が下越病院DMAT、右が後続のDMAT複数チームになったことで、転送が必要な患者を搬出することができました



今回参加した下越病院DMATのメンバー
撮影は筆者です（DMAT隊員）